



Vol.80 12月号

発行
富山市民国際交流協会〒930-0002 富山市新富町一丁目2番3号
CiCビル3F 富山市国際交流センター内
TEL(076)444-0642 FAX(076)444-0643
発行責任者 広報委員会

国際交流フェスティバル2014 in TOYAMA

平成26年11月9日(日) 富山駅南CiCビル



〈ロシアの子どもたちの踊り〉

「異文化理解と交流」をテーマに、26の国際交流団体と37カ国のブースが設けられ国際交流フェスティバルがにぎやかに開催されました。

ステージでは歌やダンスなど伝統文化も披露されました。CiCを訪れた日本人だけでなく、参加した外国人同士も様々な文化に触れ「小さい富山県」の中で「広い世界」を体験しました。

新春国際交流のつどい2015開催!

世界の国々の皆さんと、楽しくおしゃべりしましょう。

- 日 時 1月18日(日) 14:00～16:00
- 場 所 CiC 5F 多目的ホール (JR 富山駅南)
- 会 費 会員 1,000円、一般 1,200円、
外国人 500円、小学生以下無料
※民族衣装でお越しの方は、100円引き
- 定 員 約150名(申込順)

もちつき大会、日本文化体験コーナー(羽根つき、けん玉、こま、折り紙、福笑い、かざぐるま、消しゴムはんこと習字、抹茶)、ミニ運動会、じゃんけん大会 他

私たちの活動説明会

私たちの輪に入り、一緒に活動してみませんか!?

- 日 時 2月28日(土)14:00～15:30
- 場 所 富山市国際交流センター
- 内 容 体験談の発表、活動説明、ティーパーティー



募集中です!!

特集 国際交流フェスティバル 2014

11/9
(日)

主催/国際交流フェスティバル 2014 実行委員会

共催/富山市民国際交流協会、(公財)とやま国際センター、JICA 北陸

富山駅南 CiC ビル

体験する



日本の着物を
着てみよう!(3F)



タイの
ソーパークーピング
(5F)

5階ホール前では今回、初めてタイのソーパークーピングの体験がありました。ごく普通の石けんから素晴らしいアート作品が生まれるとは驚きです。実際彫ってみると細かいところが難しく、皆さん四苦八苦の様子でした。

3階は様々な国の文化が詰まった「体験コーナー」で、どこもいっぱいでした。

日本の和服体験では、着物を着た人が周りの人に自慢しているのを見て微笑ましかったです。

外国人の女性は、「着付けを手伝ってくださった皆さん、どうもありがとうございました。私たちはとても幸せです!日本でしてみたかった事の1つが実現しました!次の目標は、自分で着物を着ることです!」と話していました。



中国結芸作り(3F)



世界の文字でしおり作り(3F)



おはしde豆つかみ(3F)



ヘナ(3F)



ポルトガル語で遊ぼう!(3F)



消しゴムハンコと習字(3F)



民族衣装を着て
変身しよう!(3F)

食べる

1階や5階では、インドのカレー、ジャマイカのビーフパティ、ポーランドのピゴス、ドイツのカリーヴルスト、ルーマニアのミティティなどの料理販売があったが、まさか富山でこんなに世界の料理が味わえるとは!美味しい、美味しい、...あつという間に売り切れ続出でした。



世界のおいしいに会おう!

知る

1階・3階・5階の国際交流・協力団体ブースでは、活動紹介パネルの展示や、交流国の特産品を並べたりチャリティバザーを行ない団体のPRに努めていました。3階の防災講座「災害時の避難について」では、地震が起こった時に、何が起き、どうしたらいいかを外国人に分かりやすく説明していました。また、非常袋作り、非常食の紹介や試食もありました。



団体紹介ブース(1F)



団体紹介ブース(3F)



災害時の避難について(3F)

Комментарий об участии в международном фестивале 2014

Татьяна Панченко (Россия)

9 ноября 2014 г. делегация педагогов из Приморского края приняли участие в Международном фестивале культур (Тояма, Япония). Русские дети приняли участие в плетении из ниток, создании русских кукол, примерке национальных костюмов, каллиграфии, играх и забавах народов мира.

Приятно было слышать русскую речь от иностранцев, живо интересовавшихся культурой и традициями России.

Поразили чайные церемонии Японии и Китая. Несмотря на то что зеленый чай сейчас популярен в России, толь-

ко здесь удалось почувствовать его настоящий оригинальный вкус. Впечатлил японский повар, который приготовил великолепный борщ по рецепту своего знакомого из Владивостока. На сцене все делегации раскрывали дух своей страны через песни и танцы, игры, национальную музыку. Зал живо откликнулся на каждое выступление: песни и танцы становились общими, объединяя людей, преодолевая языковые барьеры. Международный фестиваль в Тояме показал, что культура и искусство не знают границ, способны преодолевать любые экономические, политические и религиозные барьеры. За шанс поучаствовать в этом грандиозном событии, российская делегация от всего сердца благодарит организаторов фестиваля!



交流する

各国のスタッフが素敵に飾り付けたブースでお国紹介を行いました。みなさん新しくお友だちをたくさん作っておられたようです。

ことばのラリーは、小さなお子さんを中心に世界中の人々と直接触れ合いながら、ことば集めをするプログラムです。子どもたちは、世界の「ありがとう」を集めながら、楽しそうに交流していました。

ロシアアンティーコーナーは、ロシアの沿海地方から持参されたおいしいクッキーやチョコレートを食べながらの交流で、ロシアを体験する貴重な機会となりました。



各国紹介ブース(5 F)



ロシアアンティー(5 F)



日本ブース(5 F)

観る・聴く

5階ワールドステージでは、世界各国の人々が日本の歌にチャレンジする「外国人カラオケ大会」が行われました。今年は森山 直太郎の「さくら」を熱唱された中国の呉 雨(ごう)さんが優勝されました。

スペインの歌と踊り「マカレナ」では、たくさんの人たちがステージに上がり一緒に踊りました。ロシアの歌と踊りは、総勢 80 名で迫力満点、一糸乱れぬダンスの数々で、観客は大興奮でした。

フィナーレは、ウエイノによるアンデス民謡。みんなステージの周りに集まり、踊ったり歌ったりと、熱いフィナーレとなりました。

3階では力のこもったロシア語スピーチコンテストや富山国際大学留学生による「日本での体験」発表、世界のフォークソングの演奏などたくさんの催しがたくさんありました。



外国人カラオケ大会(5 F)



ロシアの歌と踊り(5 F)



スペインの歌と踊り(5 F)

パラグアイの
ポトルダンス(5 F)



アンデス民謡(5 F)



ネパールの歌と踊り(5 F)

ステージ

- ①各国ブース紹介&お国自慢
- ②外国人カラオケ大会
- ③スペインの歌と踊り
- ④ロシアの歌と踊り
- ⑤フィリピンの踊り
- ⑥カポエイラ
- ⑦アメリカンフォークミュージック
- ⑧インドネシアの踊り
- ⑨京劇「孫悟空」
- ⑩ロシアのゲーム
- ⑪パラグアイのポトルダンス
- ⑫マレーシア舞踊
- ⑬ジャマイカのダブ・ポエトリ
- ⑭ネパールの歌と踊り
- ⑮ボリビア音楽
- ⑯雅楽演奏
- ⑰アンデス民謡

ありがとうメッセージ

実行委員会より一言

国際交流フェスティバル2014にご来場のみなさま、実行委員会ボランティアスタッフのみなさま、本当にありがとうございました。

最後に、来年もフェスティバルで皆さんと再会できることを楽しみにしていますと、実行委員会副委員長のJICA 北陸支部長 堀内好夫氏が閉会宣言を行ないました。

国際交流フェスティバル 2014 に参加して

タチアーナ パースチェンコさん (ロシア)

11月9日に沿海地方の団体は富山市で行なわれた国際交流フェスティバルに参加しました。

ロシアの子ども達、大人も外国の紹介ブースを見たり、小物作り、民族衣装教室、外国の遊び、書道などの体験で楽しい時間を過ごすことができました。

特に、ロシア語を話し、ロシア文化、伝統などに興味を持っている外国人の方がたくさんいるのにびっくりしました。

また、日本と中国の茶道に参加しました。最近ロシアでもお茶は大人気で、ここで本物のお茶の味を試してみることができました。そして、日本人の料理人でウラジオストクの知

り合いの作り方を基にして作られたロシアン「ボルシチ」は、本物と変わらずとても美味しかったです。

ステージパフォーマンスは非常に感動しました。いろいろな国々の踊り、歌、民謡音楽などに強い印象を受けました。ステージの人と一緒にダンスやゲームをしたり、それ以上に、外国人の参加者とやり取りしながら、ものすごく効果的な交流ができて、よかったです。

最後に、フェスティバルにおいて、文化・芸術・経済・政治、宗教が異なる方々との交流を深める、そんな素晴らしい機会をいただいたことに、ロシアから参加した全団体より心から感謝の意を表したいと思います。

P2の要約文です

「富山市民ロシア交流訪問団」が ウラジオストク・ハバロフスクを訪れる

平成26年9月2日(火)～6日(土) 4泊5日

▼ハバロフスクのレーニン広場



▼ウラジオストク市役所



ハバロフスク
ウラジオストク

富山



▲ハバロフスク日本人抑留者墓地にて献花



▲ウラジオストクの極東連邦大学



▲ウラジオストクでの交流会

親善交流や海外事情の知識取得・異文化理解を目的とする平成26年度の海外研修は、『近くて遠い国』極東ロシアを訪問しました。

ハバロフスクでは、レーニン広場の見学やアムール川の遊覧船を体験し、日本人抑留者墓地では献花の後、線香・ロウソクを立て、全員で慰霊の祈りを捧げました。

夕食後、シベリア鉄道で10時間かけてウラジオストクに移動。同市では、日本国総領事館・市役所・極東連邦大学を訪問しました。ウラジオストク市は、太平洋艦隊基地、商業港、漁業港とともに多くの高等教育機関や研究機関・文化施設を擁するロシア極東最大級の都市です。沿海地方の政治・経済・文化の中心地は、ヨーロッパの香りが漂い、感激・感動の連続でした。

夕食時には、日本国総領事館・沿海地方社会文化団体「日本友好協会」の方々と歌や踊りで楽しい親善交流をすることが出来ました。

今回の参加者全員が多くの思い出をつくり無事帰国できましたことは、富山市、富山県、北陸銀行、富山ロシア協会や関係団体のご支援ご協力のお蔭と感謝しております。皆様どうもありがとうございました。

団長 村田善市

日程

9/2(火) 富山出発 新潟空港からハバロフスクへ

9/3(水) ハバロフスク市
郷土博物館・大聖堂・レーニン広場見学、
アムール川遊覧、日本人抑留者墓地で慰霊、
シベリア鉄道乗車(ウラジオストクへ)

9/4(木) ウラジオストク市
市役所表敬訪問、日本国総領事館・極東
連邦大学視察、交流会

9/5(金) ウラジオストク市
鷲の巣展望台・博物館・富山ウラジオス
トク友好庭園見学、昼食交流(北海道銀
行ウラジオストク駐在員事務所との)

9/6(土) ウラジオストク空港から新潟へ
富山到着



多文化共生事業

富山まつり「越中おわら踊り」

8月2日(土) 城址大通り 参加者 日本人25名、外国人31名

富山まつり2日目の越中おわら踊り街流しに参加しました。当日は午後4時に集合し、まずは浴衣に着替えました。ほとんどの人が自分で着られずマネキン人形状態！着てからはパリコレモデルなみの大撮影大会！となりました。

6時開始の前にわか仕込みの練習をしましたが、なかなか振りも覚えられず(汗)、直前まで踊りを知っている人を真似てどうにか形を作り、いざ本番！

企業などの団体がそろいの浴衣やはっぴを着ているなかで、国際色豊かな富山市民国際交流協会チームは、それぞれが自分に似合う浴衣を着て踊りの輪に加わりました。

今年も猛暑の中の街流しとなったので熱中症を心配しましたが、そんなことも気にならないくらい皆が踊りを楽しみました。そんな踊り手の熱意が通じたのか、富山市民国際交流チームは一般団体の部で「特別賞」を受賞しました。

踊りに参加した外国人の方は、日本の夏の風物詩を実際に体験できて楽しかった様子でした。



富山市総合防災訓練

事前研修会

9月13日(土) 当センター

36名が参加。当協会の防災の取り組みに始まり、当日の流れや、避難所等における会話として必要な表現を学びました。



訓練に参加

9月27日(土) 婦中スポーツプラザ、婦中体育館

今年は、訓練会場が広がったので、例年以上に効率よく回る必要がありました。参加者62名(日本人39名、外国人23名)の方々のご協力、すべての練習を時間内に終えることができました。

初めに、駐車場では起震車で地震の怖さや、煙中を歩く体験をしました。グラウンドでは、参加団体の災害時の支援活動の様子を見学した後、体育館に移動し、避難所での外国人対応訓練を行いました。

避難所では、提供する情報(生活、ライフライン、交通)を多言語に訳し掲示する中で、多くの情報の中から大切な情報を、簡潔に正しく迅速に訳す難しさを改めて実感しました。また、保健師の健康チェック、医師による診察の通訳では、専門用語もでてきて、日ごろから語彙を増やす練習も大切だと思いました。災害ボランティア本部では、実際にボランティアを申し出るといった設定で練習しました。

多くの団体が参加する合同訓練は、他団体の災害時の活動を学ぶ良い機会でもあり、異常気象による災害も多発していることから、日ごろからの備えが非常に大切だと実感しました。



5ヵ月間の研修を終えて

私は、富山市民国際交流協会での研修でいろいろな活動やイベントに参加することができました。日本のおもてなし、翻訳と通訳、国際イベントの見学、日本にいる外国人への接し方や歓迎の仕方を見せていただいてよかったです。

研修を通じて、同僚同士、外国人同士のやり取りはかけがえない経験になりました。多国文化の特徴、国々の自慢、外国人の考え方と生活習慣に以前からのものすごく興味を持っていたので、研修で習った技術と知識を得ることができてとても嬉しかったです。

そして、私は研修先の富山市民国際交流協会の雰囲気が好きでした！富山市民国際交流協会でも、さまざまな体験をさせていただけて本当に幸せだったと思います。その上、研修先でたくさんの人と会うチャンスもありました！また、研修先の職員の皆さんの優しさ、明るさに恵まれたので、ありがたい気持ちで研修を終えることができました。



ザクレヴスカヤ ウリヤナ
(ロシア出身)

研修期間：7月14日から
11月20日

外国語ボランティア養成講座後期クラス

地震や台風・集中豪雨などで、避難勧告や避難指示が出されると、避難所に避難しますが、経験のない外国人はどこへ行けばいいのか、何を持っていけばいいかわからず、避難が遅れてしまう恐れがあり不安です。そこで、後期は「災害のとき」と題し、避難所での活動を中心に学びました。



第1回 (1) 声をかける

11月1日(土)

避難勧告・避難指示が出たという設定で、隣りに住んでいる外国人に声をかけて、避難所へ一緒に行き、避難所に到着後、看板・張り紙作り、アナウンス原稿の作成やアナウンスの練習をしました。

まず、何が起きているのか、どんなことがこれから起こる可能性があるのか、といった初期情報を提供することで、少しでも不安が解消されると思います。

避難所で、不安なとき、母国語で声をかけられたら、きっと外国人は安心することと思います。

合同のセッションでは、諸外国には避難所というシステムがないことや、中国の方は、表示が漢字で書かれていても中国語の意味と相違するので気をつけなければならないなどの話ができました。

第2回 (2) リアルタイム情報 11月29日(土)

避難所にリアルタイムで入る情報を、「生活関連、ライフライン、交通」の3つに分けて翻訳した後、アナウンスや掲示板に貼る練習をしました。

また、避難所で、避難外国人からの質問や要望にこたえる練習もしました。翻訳では、「救援物資」や「炊き出し」等のシステムがない国の人には、単語をただ翻訳してもわかりにくいといった話ができました。



委員会報告

文化交流

日帰り交流会 土人形絵付けと茶道を体験しましょう!

10月5日(日) 民俗民芸村

日本人13名、外国人12名で民俗民芸村へ。土人形の絵付けは、フクロウ、招き猫、来年の干支・羊の3種類から一つ選び着色します。上手な絵付けは、色が混じり合うことなく、くっきりと分けられています。昼食時に全員が自分の作品を紹介しましたが、実に細やかな手の込んだ色彩を施した作品が多く、自作と比較し、つくづく自分の不器用さを痛感した次第です。

円山庵のお茶席では、作法を学びながら、見事に紅葉した庭の柿の葉を眺め、菓子と抹茶を楽しみました。3歳のマルコス君が、裏千家の作法に則り熱いお茶を飲み干すと、どうなることかとハラハラして見守っていた周囲から思わず安堵の笑みがこぼれました。



円山庵

ボランティア

料理交流会「バランス食」 10月28日(火)

富山市中央保健福祉センター

日本人13名、外国人6名(フランス、インドネシア、カナダ、ロシア、チェコの方)で秋の和食作りを楽しみました。言葉が通じないながらも、日ごろから料理上手な日本のお母さんたちのパワーで無事4品が出来上がりました。栄養士の指導の下、皆で協力しながらの手際よい調理に感心させられました。

また、この4品は食のバランスを考えて、食物繊維がしっかり含まれており、生活習慣病予防に大いに役立つ料理とのこと。外国の方にもこれまで以上に日本料理の良さを知っていただけたようで、たいへんうれしく思いました。

★献立 きのこ三昧ごはん、鳥の塩麹包み焼、豆乳スープ、鬼まんじゅう



料理交流会

国際教養

中国語夏季集中講座

参加者 第1回28名 第2回35名

①「皆で中国の歌を歌おう！」 8月2日(土) 講師 石琳さん

中国でのスタンダードソングである『月亮代表我的心』、『小城故事』を取り上げ、ゲスト講師に歌詞の内容を説明いただいた後にカラオケに合わせて皆で歌いました。

講座終了後も中国語の歌が聞けるインターネットサイトに関する質問もあり、みなさんの中国語の歌に対する関心の高さを感じる事ができました。

これからもカラオケハウスなどでたくさんの人が歌ってくれるとうれしいのですが...



②「中国語で話そう！」 8月9日(土)

ネイティブスピーカーの方々とのお話をしました。

初級、中級、上級と3つのチームに分かれ各チームで中国語での会話を楽しみました。

最初は、いざ会話となると緊張してしまったり、言葉が出てこなかったりと話も少なめでしたが、時間の経過と共にみなさんも徐々に調子が上がり普段の勉強の成果を出して会話を楽しんでおられました。

「自分の実力がわかった!」や「意外と通じる!」との感想も聞かれました。みなさん中国語学習への士気が上がったようでした。



ディスカバー富山 10月4日(土) 民俗民芸村、長慶寺、五百羅漢 日本人15名、外国人7名



今年は前年より外国人が多く、日本人参加者にとって有意義な通訳ガイド実践の場となりました。天候にも恵まれ、陶芸館、売薬資料館、民芸合掌館等では、各自英語で説明し質問に答えながらゆったりとしたペースで進めていくことができました。昼食時には文化の違いについてのディスカッションを挟み交流を深め、午後は恒例の座禅体験、五百羅漢見学でした。内容的に難しい場面にも長慶寺住職、副住職の協力の下、参加者が積極的に通訳体験をすることができました。

今回のディスカバー富山を通して、各自、通訳ガイドをする上での課題を発見し、問題意識を持って、次のステップへつなげていければ幸いです。

多国言語文化交流クラス

ロシア & ロシア語 10月11日(土) 講師 ザクレヴスカヤ ウリヤナさん

ロシアに対してどのようなイメージを持っているでしょうか?近くて遠い国、ウォッカとボルシチが有名、寒い国、みんな毛皮のコートと帽子を身につけているなど様々だと思います。広大な土地を持ち、多民族でも、言語がひとつで、世界一大きな国として知られています。

2012年には、ウラジオストクのルースキー島でアジア太平洋経済協力会議(APEC)が開催されました。DVDで紹介いただいたルースキー島に架かる世界最大の斜張橋、金角湾に架かる橋、極東連邦大学は、どれもAPECの会議に合わせて整備されましたが、とても美しく印象的でした。終了後多くの質問が出て、ウリヤナさんと交流する良い機会となりました。



アルゼンチン & スペイン語 11月15日(土) 講師 吉田 ダニエル アルベルトさん

富山の企業で研修中のアルゼンチン出身日系3世のダニエルさんに、アルゼンチンについて紹介いただきました。

母を訪ねて三千里のマルコ少年がどこまでも続く広い大地を旅したように、アルゼンチンには雄大な自然が広がっています。南には青く光る姿が有名なペリートモレノ氷河、北にまるで月の谷を思わせる岩砂漠、西に南米最高峰のアコンカグア山を含むアンデス山脈、東に世界最大級のイグアスの滝。他にも動物の楽園といわれるバルデス半島や標高4千メートルを走る雲の列車等々、大自然を満喫できる国のようです。

タンゴという音楽にはどこか物悲しい雰囲気を感ずますが、実際のところ雄大な大自然とともに暮らすアルゼンチンの人々は、性格も明るくおやかで優しいのでしょう。ダニエルさんのお話しぶりにもその一端がうかがえました。

家族を大切にするアルゼンチンでは、特別な日には大勢が集まってアサード(お肉中心のバーベキュー)とワインで盛り上がるとのこと。ダニエルさんが帰国された今ごろは、きっと盛大なアサードが開かれていることでしょう。楽しそうですね。



英語スピーチと討論の会



9月9日(火)

- スピーカー
ザクレヴスカヤ ウリヤナさん(ロシア出身)
- トピック
"Russian education peculiarities in the context of Far Eastern Federal University, Vladivostok city"

10月14日(火)

- スピーカー
Ms. Jennifer T. Ricafrente(フィリピン出身)
- トピック
"Filipino community in Japan society"

11月11日(火)

- スピーカー
Dr. Matthew Thibeault(米国出身)
Professor, University of Florida
- トピック
"Exploring old-time music from the Southern United States on banjo and guitar"

お知らせひろば

お申し込み・お問合せは当協会まで
TEL 076(444)0642
FAX 076(444)0643

これからの行事予定 12月～3月

行 事	日 時	と ころ	担当委員会	会 費	対 象
国際的魅力創造事業(公開特別講座)・ 国際交流TCAカレッジ 講師 マリ クリスティーヌ さん 演題 「地域の国際化によって豊かに なる街づくり」 ～新幹線の開業をふまえて～	12月6日(土) 14:00～15:30	当センター	総務企画	無料	会員・一般
華道体験	12月7日(日) 13:30～15:00	当センター	文化交流	300円	会員・外国人
英語スピーチと討論の会 スピーカー Mati Ur Rehman さん (パキスタン出身)	12月9日(火) 18:30～20:00	当センター	国際教養	会員無料 一般 200円	会員・一般
多言語文化交流クラス チェコのクリスマス 講師 Radka Mullerová さん	12月20日(土) 15:45～17:15	当センター	国際教養	会員無料 一般 200円	会員・一般
新春国際交流のつどい2015	1月18日(日) 14:00～16:00	CiC 多目的ホール	合同	1頁参照	会員・外国人・ 一般
外国語ボランティア養成講座後期③	1月24日(土) 13:30～15:30	当センター	—	会員無料 一般 500円	会員・一般
私たちの活動説明会	2月28日(土) 14:00～15:30	当センター	合同	無料	会員・一般
料理交流会(3)	3月4日(水) 10:00～13:00	富山市中央保健福祉センター	ボランティア	300円	会員・外国人
日本語ボランティア登録者研修会	3月7日(土) 10:30～12:30	当センター	—	一般 200円	会員・一般
中国語集中講座	3月 未定	当センター	国際教養	未定	会員・一般

※休館日 12月休館日なし、1月1日(元日)、1月20日(火)、2月17日(火)・18日(水)、3月休館日なし
※行事については、ホームページ <http://www.tca-toyama.jp> でご確認ください、協会までお問い合わせください。
※講座日程の変更について
①中国語入門A 1月3日(土)→10日(土)13:30～15:30
②英語を使って交流しよう! 12月20日(土)休講
③英語通訳・ガイド実践 12月27日(土)→20日(土)10:00～12:00

● 会員募集中 ●

富山市民国際交流協会では、国際理解・国際交流や多文化共生のための事業を実施しています。一緒に活動してみませんか! 入会をお待ちしています。

★★★ ご入会特典 ★★★

- 各種イベントに参画できます。
 - 各種講座の優待や研修会に招きます。
 - 協会広報誌「TCA ニュース」をお届けします。
- ほかいろいろあります。

年 会 費

個人会員	3,000円
家族	5,000円
法人・団体	10,000円

東日本大震災義援金募金に 引き続きご協力をお願いします。

義援金募金活動に多くのご協力をいただき、誠にありがとうございます。みなさまからお寄せいただいた寄付金は、日本赤十字社を通じて復興支援に役立てていただきます。引き続きご協力をお願いします。

(ボランティア委員会)

“勉強お助け隊”ボランティア募集

外国籍児童・生徒への学習支援事業として“勉強お助け隊”を開催していますが、宿題等を手伝っていただけるボランティアを募集しています。

毎週木曜日 16:00～17:30

毎週日曜日 10:00～11:30

おめでとうございます

平成26年度

とやま国際草の根交流賞受賞

神保 正さん



編集後記

今年の国際交流フェスティバルでは、私は1階から5階まで、ビデオ&写真撮影で駆け回っていました。1番目を引いたのは、やはりロシアの子どもたちの歌と踊りでした。それと、初めて参加されたソーパクーピングが印象に残りました。残念ながら、自分で彫ることができませんでしたが、機会があれば挑戦してみたいと思いました。